

2015年8月10日

日本計量生物学会ワークショップ：プロの生物統計家のための 行動基準を考える教育プログラムのご案内

日本計量生物学会

このたび、2015年度統計関連学会連合大会において、日本計量生物学会ワークショップを企画セッションとして開催する運びとなりました。そのため、連合大会の参加者であれば、日本計量生物学会の会員・非会員を問わず、ワークショップへの参加または見学ができます。グループワークを行う関係上、ワークショップの参加者数を先着30名に限定します。以下に、詳細をご案内申し上げます。

1. 日時・場所

日時：2015年9月9日（水）10:00～12:00（受付9:30～）

場所：岡山大学津島キャンパス一般教育棟D会場（教室番号 A36）

<http://www.jfssa.jp/taikai/2015/access.html>

〒700-8530 岡山市北区津島中1丁目1番1号

主催：日本計量生物学会

プログラム速報版：http://www.jfssa.jp/taikai/2015/pdf/program_0804.pdf

2. ワークショップの内容とプログラム

「統計家の行動基準」は2013年に佐藤らにより作られ、日本計量生物学会において、学会基準として採択された。これは、統計家一人ひとりが自らの行動基準「自分は誰の何のために働くか」、「どうふるまうか」を考えて、その拠り所となるもの（プリンシプル）を身の内に持つために、「プロとしてすべきこと」の必要最低限の部分（基軸）を提示して来たものである。本ワークショップ「プロの生物統計家のための行動基準を考える教育プログラム」では、事例検討や「考えるシート」などの、頭と手を使ったワークを通じて、プロフェッショナルリズムを涵養していただくことを目的としている。そして、この教育プログラムをパッケージ化して、受講者の方々が職場に持ち帰り、同僚や新人の教育に使用していただくことも考えている。そのために、受講者にはセミナーに対する評価もお願いしている。

本ワークショップでは、まず、講義1として、プロフェッショナルの定義（A. フレックスナー、1915）、ICH 統計ガイドラインでの医学領域の統計家の定義と業務、行動基準が必要な理由を説明し、プロフェッションとは何かについて考える。続いて、ワーク1では、統計解析の実務上で科学的合理性や所属組織の利益などの間で相克がある事例を用いて、プロの統計家として自分はどう行動するかについて議論する。講義2として、統計家の行動基準の概要、策定の背景や方法を解説する。そして、行動基準は各人が自らのプリンシ

ブルを持つための基盤となる考え方を示したものであることを説明する。さらに、ワーク 2 では、プロの統計家は誰の何のために働くのかについて考え、マンダラ・チャートを作成する。セミナー終了後に、自分と社会との関係を考察し、プロフェッショナルの統計家としてどうありたいかを考えるための小論文「考えるシート」を課し、提出するように求める。ここでは、2013 年 10 月に佐藤恵子氏が提案した教育プログラムを、ワークショップ用に一部改良した教材を用いる（佐藤ら，2015）。

～ プログラム ～

オーガナイザー：佐藤 恵子（京都大学）、和泉 志津恵（大分大学）

座長：和泉 志津恵（大分大学）

(1) 講義 1：プロフェッションとは何か — プロの統計家として自分はどうか行動するか—

佐藤恵子（京都大学・医学部附属病院）

(2) ワーク 1：プロの統計家として自分はどうか行動するか

鍵村達夫（先端医療振興財団・臨床研究情報センター）、西山智（日本イーライリリー株式会社）、寒水孝司（東京理科大学）、山本倫生（京都大学・医学部附属病院）

(3) 講義 2：統計家の行動基準を考える — プロの統計家は誰の何のために働くのか —

和泉志津恵（大分大学）、佐藤恵子（京都大学・医学部附属病院）

(4) ワーク 2：プロの統計家は誰の何のために働くのか

(5) 総合討論

大橋靖雄（中央大学）、佐藤俊哉（京都大学）、岩崎学（成蹊大学）

3. 参加費

参加費は無料ですが、連合大会への参加登録をされた方に限定させていただきます。

4. 参加申込方法

下記申込内容をご記入の上、件名を『ワークショップ参加申込希望』とし日本計量生物学会事務局までお送りください（FAX 03-3234-7472、E-mail biometrics@sinfonica.or.jp）。申込受付後、受付登録通知をご連絡いたします。

申込受付期間：8 月 10 日(月)より 9 月 3 日（木）まで。

《申込記入内容》

1. 参加者氏名（ふりがな）
2. 申込種別：日本計量生物学会・正会員、学生会員、賛助会員、非会員（差し支えない範囲内にて、所属学会をご記入ください）

3. 所属
4. 連絡先住所
5. TEL & FAX
6. E-mail

以上.